義妹になった幼馴染を
セックス漬けNTR!!!
大好きな幼馴染が
いつのまにか弟とデキてて
ショックを受けたお兄ちゃんは、
何をするかわからない。
フルカラー
60ページのボリューム!!

けんくん！
じゅんくん！
おいしゃさんごっこしよー！
ぼく、
おおきくなったら
おいしゃさんになる！
ゆうかちゃんが
ホントにびょうきになったら
なおしてあげるよ！
わあ！
やったあ！
そっかぁ…
賢くん、
遠くの大学
行っちゃうんだ…
寂しくなるなあ…
でもお医者さんに
なるんだもんね！
私、応援してるから！
頑張ってね！
優香、
俺は…！
いや、うん…
頑張るよ…
じゃ、またな―

ただいまー。
おかえり。
盆の時期、
遠方で医学生をしている俺は
実家に帰省していた。
ふぅ、
あち～…
淳はまだ
帰ってないんだよね？
今日の夜に
一時帰宅するってさ。
ああ。
俺もそう
聞いてる。
今実家に籍があるのは
母と弟の淳。
せっかく結婚したってのに
こうも出張続きじゃ、
孫の顔ももうしばらく
見られそうにないねぇ。
まあ仕事じゃ
しょうがないだろ。
そしてもう1人―
トン
トン
おかえり、
賢くん。

淳の嫁、
優香だ。
ああ、優香。
久しぶり。
優香と俺達兄弟は
昔からの幼馴染。
幼い頃から
3人でよく遊んでいた。
はは っ、
なんか優香がうちにいるの
変な感じだな。
ふふ、そう？
ちっちゃい頃はよく
遊びに来てたじゃん。
俺が進学のため実家を出た後も
地元に残った淳と優香は
親しくしていたようで、
数ヶ月前
ついに2人は結婚した。

俺はその時まで、
2人が恋愛関係にあった事すら
知らなかったが。
じっ…
…
聞けば
俺がいなくなってすぐ
付き合い始めたらしい。
俺が帰省する時には
たいてい3人で会っていたが、
そんな素振りは見せなかった。
うまく隠してたもんだ。
ぽよん
ぽよん
プリッ
ってか優香、
ちょっと顔色悪くないか？
え、
そうかな…？
軽く診(み)てやろうか。
これでも医者の
たまごだからな。
ああそうしな。
病院も休みだからね。
う、うん。
じゃ、
俺の部屋に…
ニィッ

えっと賢くん、
私そんなに顔色悪い…？
淳のやつはずっと出張でろくに顔も合わせてないんだろ？
カチャ…

結婚してからほとんど姑と2人暮らしじゃ、ストレスとかたまってるのかもね。
そっか…。そうかも。
新人が結婚したら嫌がらせみたいに
長期出張させる会社があるなんて聞いたけど、本当だったんだな。
うん…
もじ
もじ

よし。じゃあ診るから服脱いで。
ごそ…
えっ!?
ぬ、脱ぐの？

いや聴診器とかそんな本格的なのはいいっていうか…
一応人妻だしさ…
もじ
もじ
ごめんね、やっぱり大丈夫。
スタスタ
なんでだよ？
ガッ
ビクッ
っ！
またしようぜ？
賢…くん？
好きだったろ？お医者さんごっこ。
スリスリ
え、ちょっと!?
なあ優香？
さわさわ
ひあああっ!?

ガキの頃から
ずっと優香が好きだった。
え…っ!?
ドキッ
ただ3人の関係が
壊れるのが怖くて
告白できなかった。
ふるふる
そんな…!
スリスリ
優香が応援してくれている。
せめて期待に応えて
あいつの自慢の幼馴染になろう。
そうやって俺は必死に
勉強してきたんだ!
バッ
ぷるんっ
きゃあっ!?
でも必死に勉強してる間に、
お前は淳に取られちゃってた。
な、何する
つもり…?
ずっと我慢してきた
事だよ。
くいっ

ちゅっ
ちゅっ
ちゅっ
ちゅっ
ちゅっ
ちゅっ
ちゅっ
ちゅっ
わかってんだろ？
んん…っ！
さっきから抵抗が弱いなあ、優香？
にちゃ
んはっ…！
新婚早々夫と離されて何ヶ月もおあずけだもんな？
…っ
性欲が溜まりすぎて男なら誰でもいいってか？
おおっ!!
もにゅっ

むに
むに
むに
賢くん…
だめだって
これ以上は…！
何がだよ？
こんなに乳首
硬くしておいて。
きゅっ
ひあっ!?
素直になれよ。
やりたくて
仕方ないんだろ？
はあ
はあ
ち、ちが…っ！
ぐにぐにぐに

あっ
あっ
ガクン
ガクン
おっと。
がしっ
へな…
あ、足に
力が入んない…
そうか。
じゃあ―
あっ…
すぅ。
しっかり
支えてやらないとな。
あぁあぁあっ
ずんむ。

んっ
グチュグチュ
そこっ
おいおい
もうぐしょぐしょ
じゃないか。
あっやっ
だめっ
くちゅ
くちゅ
ぷる
ぷる
こんなに濡れてると
手が滑っちゃうなぁ！
すりゅんの
おおおおっ!?
ビクッ
ビクッ
あああっ
だめえっ！
イくっ！
イくっ……！
ぬちゅ
ぬちゅ
ぐちゅ
くちゅっ

賢…くん…
はぁはぁ
よほど溜まってたんだなあ。
ビクン
イくぅぅぅ〜っ!?
ビクン
ビクン
どうしてこんな…
でもまだ―
んっはぁはぁ
こんな簡単にイくなんて、
ビクン
とぽとぽ
物足りないよな?
ボロン
っ!

ま、待って賢くん…！
スル…
それはホントに…！
あっ
ぺろん
体は正直だなあ。
物欲しそうにひくついてるぞ。
キュン
キュン
キリシ…
先に関係を壊したのはお前らなんだ。
やっ…
なら俺がもうちょっと壊してもいいだ―
ぷちゅ
やっだめっ

ろっ!?
おおおっ!!
ぐ、ふぅ…
どうだ優香、
久しぶりのチンポは？
あく…
あぁぁ…！
これが欲しくて
たまらなかったんだろ？
だめ…
なのにぃ…っ！
顔が
とろけてるぞ？

そんなにいいか…っ！
ズボ
ズボ
ズボ
ズボ
んあぁっ
おちんちんっ…！
中で擦れてっ…
奥まで突かれてるっ…！
ちゅうっ
ちゃっ
んむっ
ぐんっ
なに…
これぇ…っ！
ん？
ああ、淳のチンポは
小学生並みだからな！
大人サイズは
初体験か？
はあっ
あっ
あっ
グプッ
グプッ
チュプッ
ギシッ
ギシッ

しかも早漏だっけか！
前、いい薬がないか俺に相談してきたな！
バチッ
バチッ
今までしょーもねぇセックスしかしてないんじゃないか？
かわいそうにっ！
はぁ
おおおっっ!!
だめっ、おっぱい…弱いからぁっ…！
べちょ
べちょ
つまり責めてほしいって事だな？
もにゅ
もにゅ
ズチュッ
ズチュッ
おっおっ
んんんっっ!!

だめっ、だめぇっ！
何も考えられなくなっちゃうう…っ!!
ぐぽっ
ぐぽっ
ぐぽっ
いいんだよそれで！
ただ気持ちよくなってりゃいいっ！
れろれろ
べろべろ
ギチギチ
あぁっ!!
ぐっ！
中がキツく…！
キュンキュン
んっ
んああっ！
おちんちんっ大きくなった!?
あっ
あっ
ぐぽっ
ぐぽっ
お前がぎゅうぎゅう締め上げてんだよ…！
だめぇっ中っ、めくれちゃうっ！
こんなのむりぃっ…！
パンッ
パンッ
パンッ
あっ
あんっ
あっ
パンッ
パン
こんなに締められたら俺も…！
あっあっ！
イく！
イく…っ！
ちゅるっ
れろっ
ちゅるる
出すぞっ優香…！

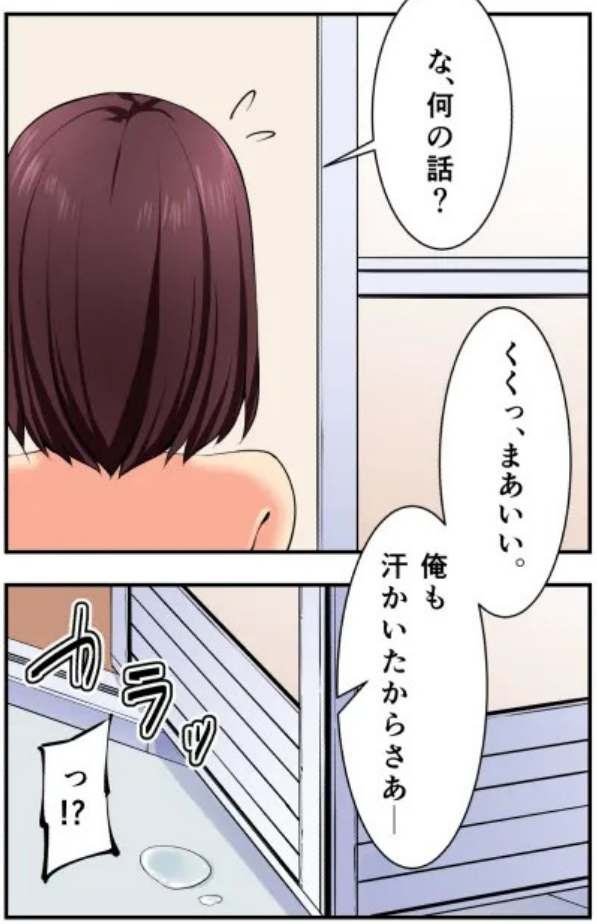
あっ…
ビク…
ビク…
あ…
ビクッ
ビクッ
あっ
ビクッ
ビクッ
あっ
んあっ
ドビュッ
ビュッ
ビュッ
ふう…
んっ…
ちゅぽ…
ドロォ

はあ
はあ
あぅ…
私、
なんて事を…
ドロ…
人間が快楽に負けてしまうのは
仕方ない事だよ。
な、なにを
他人事みたく―
本能が求めてるんだ
性的快感を。
っ！
優香。
一度壊れたものは
元に戻らないんだ。
がしっ
どうせ戻らないなら
悩むより
それを楽しんだ方が
幸せだと思わないか？
ゴク…

んっ…
は、あっ…
チュク
チュク
ハァ
ハアッ
グチュ
グチュ
じゅぶっ
じゅぶっ
掻き出さなきゃ…
賢くんの精液…
掻き出すだけ…
だけ…
ないのにぃ…
ハアッ
むにむに
こりこり
思い出したら
どんどん体が火照って…!
指…
止められない…!
イ…
く…っ!
ぷしゃっ
ぷしゃっ

ふぁ…っ
ちゅぷ…
私、こんなにエッチしたかったの…!?
んっ
あっ
ん…
ちゅ…
ホントに私…
快感に飢えてたのかも…
ちゅっ
ちゅぱ
ひあっ!?
声が漏れてるぞ、優香。
け、賢くん…?
ずいぶん お楽しみじゃないか。

ずい
シャワー浴びようかと思って。
ちょっと賢くん!?


な、何の話？
くくっ、まあいい。
俺も汗かいたからさあ—
カラッ
っ!?

なんだよ人の股間ジロジロ見やがって。
ぶちゅ
ビクッ
見てな…
んちゅっ…!?

エロいやつだなぁ、優香。
だから違うって…！

じゃ、せっかくだし体洗ってくれよ。
のしっ
は、はあ!?何言ってんの？出ていってよ！

いいじゃねえか…よっ！
ぬりゅっ
あんっ!?
ビクッ
これは「たわし洗い」っつって、
んっ
やっ
ちゅぷ
ちゅぷ
女の股間を使って洗う方法だ。
ぬぷっ
にゅぷっ
まって…！
ちゅこっ
んっ
ちゅこっ
あんっ
お前は「たわし」ってほど生えてないけどな。
ぶるっ
ぶるっ
んはっ
ちょっ…！
どうした？洗ってるだけだぞ？
トポ
トロ
だ、だってぇ…

さっき…
イッたばっかりで
敏感に…！
やっぱり
1人でしてたんじゃん。
ほら、
硬いクリトリスが
腕に当たるぞ？
ああああっっ！
だめっ、クリは…
だめえっ…！
ひやあっ…！
またイく…！
イッ…
くうっっっ…!!
まったく
しょうがないやつ―
はあ…っ
んはあ…
優香～？
風呂入ってんのか？
えっ!?

じ、淳…!?
おう、今帰ったぞ！
トン
トン
にやり…
予定より早かった―
ねえ…っ!?
ん？どうかした？
ぬちっ
ぬちっ
ううん…っ！なんでも…ないっ…！
そう？いやあ急いで来たら汗かいたし俺も―
じゅぷっ
じゅぷっ
ゆっさ
ゆっさ
はぇっ…!?

一緒に入ろっかなー？
ガチャ
!?
バリ
わあっ!?ちょちょっ！
き、急に開けないでよ！
そんなに怒るなよ…
ん、なんか顔赤くない？長風呂してる？
そう…っ？
にちゅ…
にちゅ…
あっ、ボ、ボディーソプが…無くなったからっ、
お風呂の前に買ってきて…？
えー…
ほら、湿気が出ちゃうから閉めて…！
パタン
はいはいわかったよ。

ふんっ！
ずぶっ
んむぅっ!?
ふふ、どうだ？
ガクガク
夫の前で犯される気分は!?
パチュン
パチュン
パチュン
あっ
あっ
興奮したろ!?
まんこキュンキュンしてたもんなぁ！
ああぁっ！
ばかぁっ！
ちゅぽっ
ちゅぽっ
ちゅぽっ
淳にバレたら…っ！
どうするの…！

そしたら気兼ねなく俺とヤりまくればいいっ！
そんなの…だめ…っ！
俺には出張も無いからなっ！
毎日毎日気持ちよくて頭がおかしくなるくらい、
ハメまくってやるぞっ!!
また…熱いのいっぱい…
ふぅ…責任は取ってやるよ。
お前にセックスの味を教えちゃった責任はな。
っ…

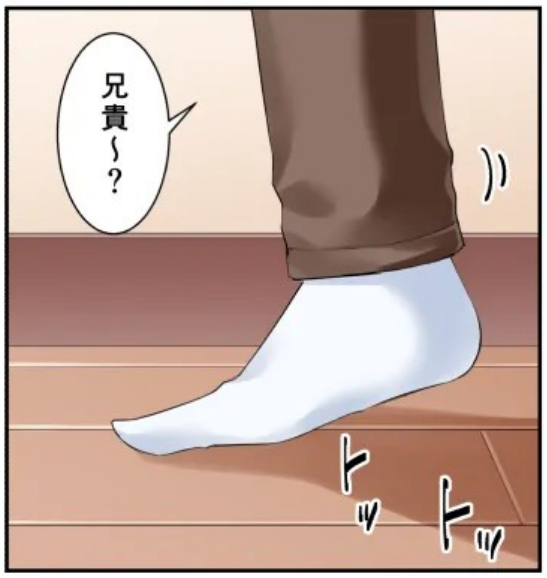
ブルッ
ブルッ
ゆ、優香…！
久しぶりで俺…！
えっ…？
チュプッ
チュプッ
ビュッ
ビュッ
ビュッ
うっ…！
もう…出る…！
ビクン
ビクン
あっ…
…
は、はは…
優香が可愛くてつい興奮しちゃった…
もう何言ってるの、淳。

賢くん？
コンコン
そろそろ起きなさいって
お義母さんが…
ガチャ

んあ…？
優香…
もう朝か…
朝っていうか…
もうすぐ10時だよ…
ん？
なんだよもじもじして。
わかってるでしょ…！
昨日あんな事
しといて…！

ああ、
俺を見たらまた
体がうずいちまうってか？
くくく…
ば、ばか
何言ってるの!?
そんなわけ…！
ぎゅ…

おう、起きたか。
今起こされた。


兄貴～？
トッ トッ

俺達、母さんと買い物行くけど兄貴も行く？
んー、そうだぁ…

ヒクッ!!
…ていうか淳、優香体調悪いらしいじゃん。
えっ…!?

一応俺がついてるから、買い物は母さんと2人で行って来いよ。
わレ
わレ

そうか…
でも調子悪いならなんで言わないんだよ？
そ、それは
そのぉ…

まぁまぁ
変に心配かけたくないんだよ。
せっかく久しぶりに
淳が帰ってきてんのに。
さわ
さわ
いや
そうは言っても…
でもまあ確かに
昨日から
顔も赤かったなぁ…
にに
にに
びくっ
びくっ
軽い風邪だろうけど
夏風邪は
油断できないからな。
ぐいいい
ぐりぐりぐり!!
…わかった。
優香を頼んだぞ兄貴。
昼過ぎには
帰るから。
ああ…
任せとけよ。
くくく…
トロォ…
う、うん…
ごめんね…
はあ
はあ
賢くんと
お留守番してるわ…

んっ…
ちゅっ
はぁっ…
んむ…
ちゅっ
ちゅっ
はぁっ…
朝のコーヒーくらい
ゆっくり飲ませろよ。
どうせ
…するんでしょ？
とろ…
れぁ～
んむっ！
ふぐっ

んはぁ…
なら早くしてよ…
お昼には
淳達帰って
くるんだから。
昨日のお風呂みたいに
ハラハラさせらるのは
嫌なの…っ
ぷく…
はっ、
なんだそりゃ。
つまり
早くヤりたいんだろ？
あんっ…
ちがう…！
ぽにゅ
ぽにゅ
でも夜は淳とお楽しみ
だったんじゃないのかあ？
はっあぁんっ！

なのに
なんでこんなに
発情してんだよ？
それは…っ
ちがっ、くて…！
こりっ
こりっ
チロ
チロ
ちょっと尻触ったくらいで
まんこ濡らして
ついて来やがって！
乳首っ、だめぇっ、
弱いんだってばあ…っ！
グニッ
グニッ
グニッ
やっぱり
淳とじゃ満足できな
かったんだろ!?
くく…
乳首だけで
イったか。
ハアッ
ハアッ
でもまだまだ―
あっ…
するっ…
んんっ
あっ!!
んんっ
あっ!!
んんっ

時間はあるぞっ！
ちゅうう
はあああっ!!
ろろろろろっ
クリ
クリっ…
そんなに
されたらぁ…っ！
ビクッ
ビクッ
まだイッちゃうぅぅっ!!

はあ…
ぷちゅ
んっ…
くく…
2回目ぇ…
すろっ
ヒク
ヒク
あんっ…
んむっ！
ちゅぱ
ぶるるっ
あぁあっ!!
ビクッ
中でっ、
舌、動いて…♡
ぬろ
ぬろ
だめぇ…っ♡
ぞくぞくぞくぞく

イくのぉ
とまらないぃぃぃ!!
ガンッ
ガンッ
ガンッ
ガンッ
んっ
あっ
あっ
ぬぬぬぬぬぬ
はあ
はあ
ふう、
これで3回…
びく…
びく…
淳達が帰るまでに
何回イくかなぁ、
優香?

きゅっ
きゅっ
ああ、最高だ。
んっ、んしょっ、これっ、気持ちいいの？
くく、だいぶ素直になってきたな。
どうだ、淳とするよりいいんだろ？んん？
むにゅっ
むにゅっ
や、やめて…
そんな事言わせないでっ！
れろ
うっ…！
ビクン

気がきくなあ、優香っ！
ああ…っ ちく…びぃいっ♡♡
ほら俺はこうして自分でしごくから―
ゆっさ ゆっさ
あっ♡
あっ♡
グニィイイ
ビヘッ
お前も自分で楽しめよっ！
あ、はあっ！ うん…んんっ♡
もにゅ もにゅ
ちゅぱっ ちゅるっ
んっ、ちゅっ、ちゅるるっ♡
ちゅぱっ ちゅぱっ
くっ、ああ…いいぞ…っ！

すごいよなあ？
ちゅるっ
ぷちゅっ
旦那に隠れて
別の男のチンポ
しゃぶって、
オナニーするほど
興奮してんだもんなあっ!?
じゅくっ
じゅくっ
だって…ちゅっ、
らってぇ…♡
もう言い訳
できないな…っ!!
ビュルルル
ビュルルル
ビュルルル
ぐんっ、んっっ！
ドクッ…
ドクッ…
んん～～っっ!!

んっ…
んっ…
ゴクッ
ゴクッ
とろぉ
んっ、はぁ…♡
精液って…
すごいエッチな味…♡♡
はあ
はあ
ん？
フェラも初めてだったか？
淳には悪い事
したなあ、くくく…
くちゅ
くちゅ
ほら優香、服着ろ。
あ、ああんっ♡
もう終わりなのぉ？
おっと、
ぼちぼち淳達
帰ってくるか…
まだ…こんなに
うずいてるのに…
んー？
する…

終わりとは言ってないがっ!?
がばっ
ちゅぽっ
ぬぁあっ!?
あっ…
ああっ♡
ぶるっ
ぶるっ
不意打ちで軽くイッたか。
あっ、あっ、おっぱいもお口もいいけどぉ…!
ぬっ
ちゅ
やっぱりこれが一番いいのおっ♡
アッチュッ
アッチュッ
クリクリ

ブロロロロ…
あっ…
お、うちの車の音だな。
け、賢くん…どこかで続きを—
くねくね
よし。
出迎えてやるか。
えっ…
ええっ!?
スリ
このまま玄関まで行って—
ちょっ…賢くん!?
ずいずい
あっ、あっ…!
おらっ、のぞき穴で確認しろ!
あん!
ズンッ!!
ぷにゅっ

あっ…淳達…
もう外にいる…っ！
うぐっ！
中がキツく…！
キュン
キュン
ズッチュ
ズッチュ
この状況で
興奮してんのか優香ぁ！
パン
パン
パン
パン
パン
ゾクゾク
んああっ♡
だってぇっ！
もう来てるって！

鍵っ、
出してるぅ…っ！
入れちゃう！
ドア開いちゃうう！
ガチャガチャ
ガチャガチャ
うぉ…っ
そんなに締めつけられたら…！
クる…！
キちゃうっ、
キちゃうう…！
ぱちゅ
ぱちゅ

出る…！
あ、違うこれ
出張先の部屋の鍵だ。
はっはっは。
ただいま～。
ガチャ
おかえりぃ。
お、優香。
体調は大丈夫なのか？
う、うん。
ちょっと寝たら
良くなったよ…
ぐちょ…
ズムんっ
ゴプッ
ドプッ
あっ
んあぁっ

それから俺は
実家に滞在している間、
淳の目を盗んでは
優香を犯してやった。
優香もすっかり
俺とのセックスにハマり、
あれ、
優香まだ入ってるのか？
う、うん…！
ちょっと
お腹の調子が…あっ♡
夫以外と関係を持つ
背徳感やスリルにも
むしろ興奮を
覚えているようだった。
そして―

グガー
グガー
キィ…
ギシッ
ん…
んん…？
チュッ
チュッ
んっ…
んんっ…♡
ちゅうう
むっ…!?
優香…？
あ、起きた？

賢くん
明日帰っちゃうでしょ？
んはぁ
ああ…
だから最後に
もう一回―
さわ
さわ
ムクムク
んっ…
するっ
ね♡
ボロンッ
ほら
おちんちんも
もっとシたいって♡
ハァ
ハァ
くくく…
嫁のこんな姿
淳が見たら―
淳か、
そうだな…
ニヤ…
ぎゅっ♡

ちょっと待て優香。
場所を変えよう。
えっ、
どこに…
カチャ
って
賢くん…！
そう…
だけど…！
ミシッ…
ほら、来いよ。
したいんだろ？
うぅ…
こ、こんなの…
んぉ～…
でんっ
なんで私達の寝室に…!?
淳が寝てるんだよ!?
こいつは昔から
一度寝たら
横で騒いだくらいじゃ起きない。
知ってるだろ？

がしっ
さあ―
すぅぅ…
最後の夜を楽しもうぜ♪
んあぁっ…！
ぶるんっ
ああっ、私、
ズチュッ
パチュッ
淳の横でっ、賢くんとセックスしてる…！
やっぱりお前、こういうの好きなんだな？

スリリングな状況だとまんこの締まりがよくなるぞっ！
あっ、あっ、弱いとこあたってぇ！
声出ちゃう…！
淳が起きちゃうう…！
抑え…なきゃっ、んむっ！
んんっ、んっ、んん～～っ！

ふっ！
ひあっ!?
むちゅっ、れろっ、
はあっ…、ちゅううっ！
ぷはあっ、
無理に抑えなくて
いいだろ。
声も音も
聞かせてやろうぜっ！
あっ
あっ
あっ
パチュンッ
パチュンッ
んっ
あっ
そしたら淳のやつ、
お前とセックスしてる
夢でも見てるかもな！
くかぁー

隣で嫁が
兄貴のチンポ咥えて
悦んでるのも知らずになあっ！
ズリュ
ズリュ
んんんっ!!
ガシっ
ガシんっ
はあ
はあ
ビクッ
ビクッ
くくく、
軽くイったな？
淳、聞いてるか？
ビクッ
ずちゅっ
ずちゅっ
ずちゅっ
お前とのセックスじゃ
優香はこんな声
出さねぇだろっ!?
やっ、あっ、ああっ、
だめっ、いまっ、
イったばっかりでぇっ♡

優香、お前からもはっきり言ってやれよっ！
俺と淳、どっちのセックスがいいか！
あっ、はあっ、ごめんなさいっ、淳…っ！
ゆうか～
ぐちゅ
ぐちゅ
ぐちゅ
私っ、賢くんがいいっ♡
ハアハア

大人のおちんちんでズボズボされるのがいいのっ♡
ぎゅうう
ずぶっ
ずぶっ
頭まっ白になるくらいイかされるのがすきなのぉっ♡
ぢゅぶっ
ぢゅぶっ
ぢゅぶっ
ぢゅぶっ
くくく…！
よおし、よく言えたな優香！
はあぁんっ♡
ぐりんっ
俺は嬉しいぞ優香！
ずんっ
ずんっ
ずんっ
ずぶっ
ずぶっ
ああっ、おちんちんっ、また大きくなったあ♡
私もイくっ…イっくぅぅ…！

この気持ち、
受け取ってくれ…っ!!
出てるぅっ！
奥っ、
こじ開けてぇっ！
こんっ、なのぉ―
余計に淳じゃ
満足できなくなっちゃう…♡

ふう。
悪いな淳。
ハア
ハア
優香はお前の嫁だが
もうお前のものじゃない。
へへへ…
くくく…
知ってるか？
壊れたものは
もう元には戻らないんだ。
ハア…♡
ハア…♡

ミーン
でもな―
ミーン
じゃ、
体に気をつけて。
おう、
母さんも。

賢くんも…
次は年末まで
帰って来られないの…？
壊すだけ壊したら、
新しく作り直すのも
簡単なんだぜ。
ん～そうだなぁ。
まぁ帰れそうな時は
様子見に来るよ。
あ、そうなの？
ハロアッ
そうしてくれると
俺も安心できるよ。
女2人だけじゃ
ちょっと心配だしな…
確かに…
くくくっ…
ちらっ
男手がほしい事も
あるだろうしな。

おまけ
・やっぱり大好き
お医者さんごっこ
どうでしょう先生？
体がとっても
熱いんです…♡
ハァ
ハァ
ん～
少し脈拍が
速いですかねぇ。
ぷにゅん
このあたりに
硬化も見られます。
痛くないですか？
ぐにぐに
あっ
ビクッ
少し…敏感に
なってる…かも♡
ビクッ
ちょっと
触診しますよ～。
ズボボ
ちゅくちゅく
んっ
んふっ
うわぁ、
ここもすごい熱だ。
これはすぐに
注射しないとっ！
ぷにゅんっ
ぷにゅんっ
ぷにゅんぽっ
ぷにゅんぽっ
おぉぉぉ
いっぱいズボズボしてっ
白いのスリ注いでえっっ!!